

## 久留米市地場企業景況調査レポート(平成29年1月～3月期調査分)

### <調査目的>

久留米市内地場企業の景況及び経営動向を把握し、今後の経営改善普及事業に資するとともに、これら情報の集計結果を事業所へ提供し、経営に活用していただく。

### <調査対象>

当所会員事業所を対象とし、建設業・製造業・卸売業・小売業・サービス業それぞれ120社ずつ、計600社を任意抽出して実施。

### <調査要領>

四半期ごとに調査用紙を郵送し、前年同月比や来期の予測について回答を求める。調査の集計は日商中小企業景況調査の集計方法に基づいた景気判断指数(DI値)で行う。

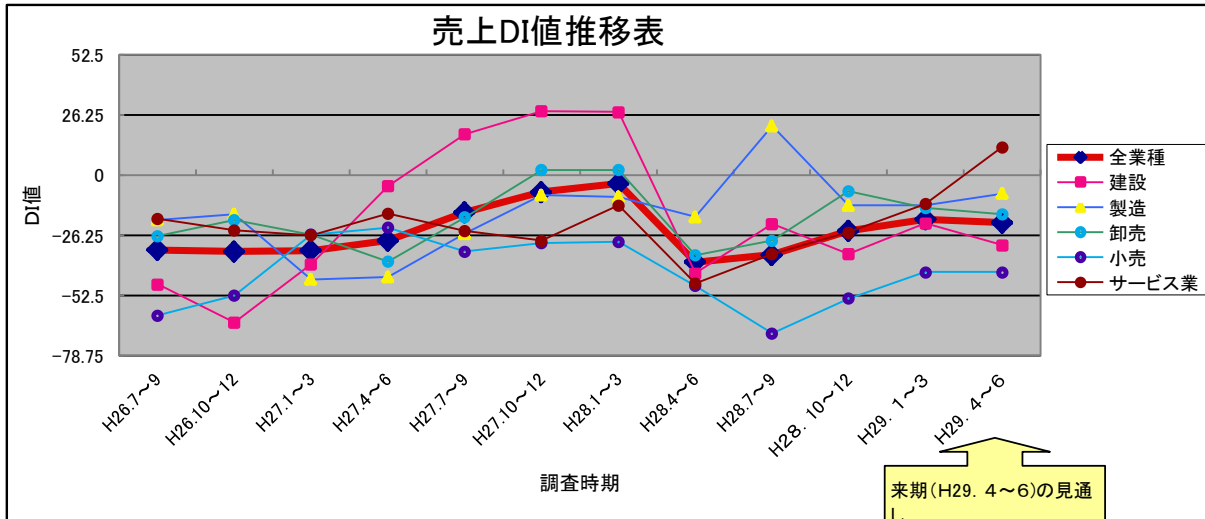
### <DI値とは>

DI(ディーアイ。Diffusion Index: 景気動向指数の略)値は、売上・採算・業況などの各項目についての、ヒアリング対象の判断の状況を表す数値。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答(「増加」や「好転」など)の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答(「減少」や「悪化」など)が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がり意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

### <平成29年1月～3月期調査分回収結果>

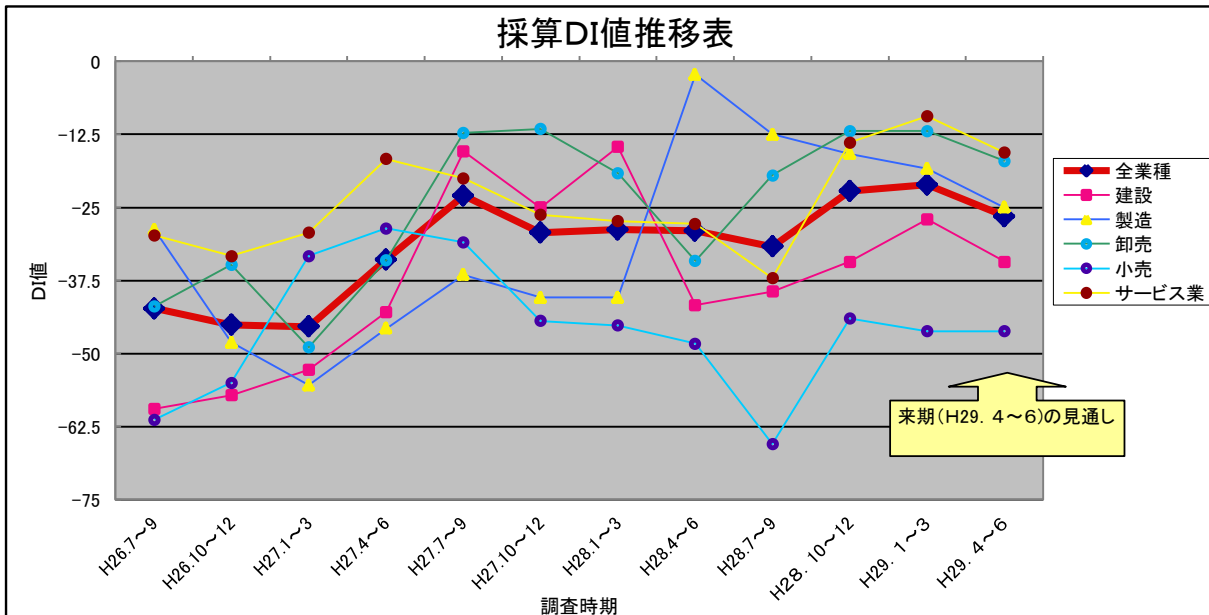
業種	対象事業所数	回答数	回答率
全業種	600	179	29.8%
建設業	120	38	31.7%
製造業	120	40	33.3%
卸売業	120	42	35.0%
小売業	120	26	21.7%
サービス業	120	33	27.5%



今期(H29.1~3)の久留米市地場企業景況調査で「売上面」での景気判断は、全業種合計で「増加した」と回答した企業は44社(前期比32社減)、「減少した」と回答した企業は57社(前期比22社減)、「横ばいである」と答えた企業は73社(前期比11社減)であった。景気判断指数(DI値)を見ると、▲22.0となり、前期比で13.8P好転した。

業種別に見ると、建設業▲21.1P(前期比13.2P悪化)、製造業▲13.2P(前期比横ばい)、卸売業▲14.3P(前期比7.2P悪化)、小売業▲42.3P(前期比7.7P好転)、サービス業▲12.5(前期比12.5P好転)となった。

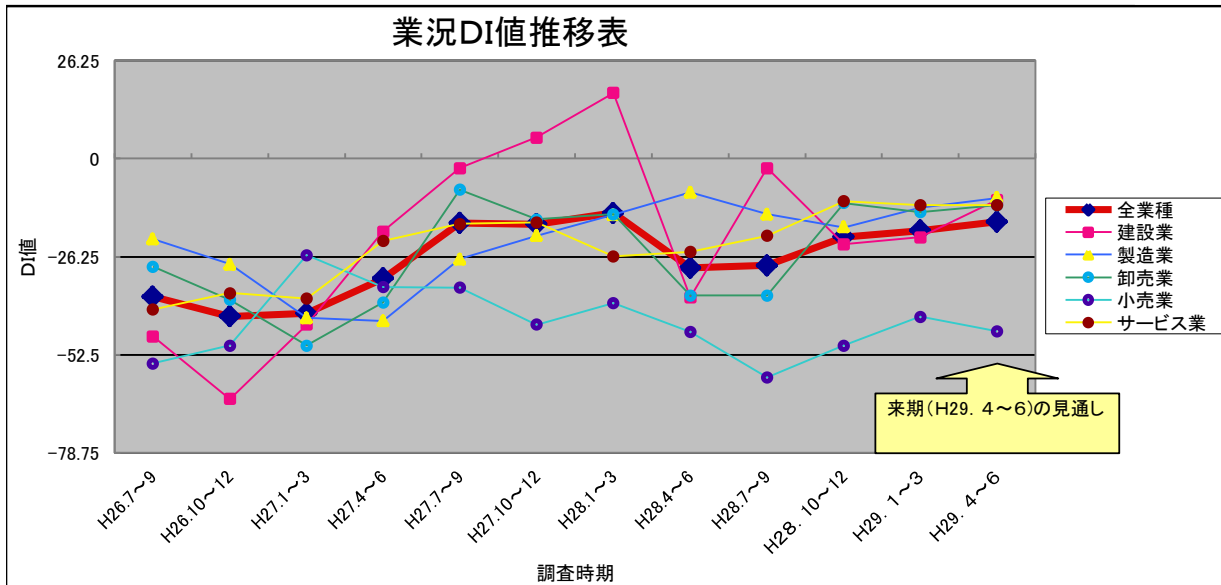
来期(H29.4~6)の見通しでは全業種DI値は▲20.8とほぼ横ばいの見込み。



今期(H29.1~3)の久留米市地場企業景況調査で「採算面」での景気判断は、全業種合計で「好転した」と回答した企業は28社(前期比6社減)、「悪化した」と回答した企業は65社(前期比4社増)、「横ばいである」と答えた企業は82社(前期11社減)であった。景気判断指数(DI値)を見ると▲21.1となり、前期比で9.5P好転した。

業種別に見ると、建設業▲27.0P(前期比7.3P好転)、製造業▲18.4(前期比2.6P悪化)、卸売業▲14.3P(前期比2.4P好転)、小売業▲44.0(前期比21.5P好転)、サービス業▲13.9(前期比23.2P好転)となった。

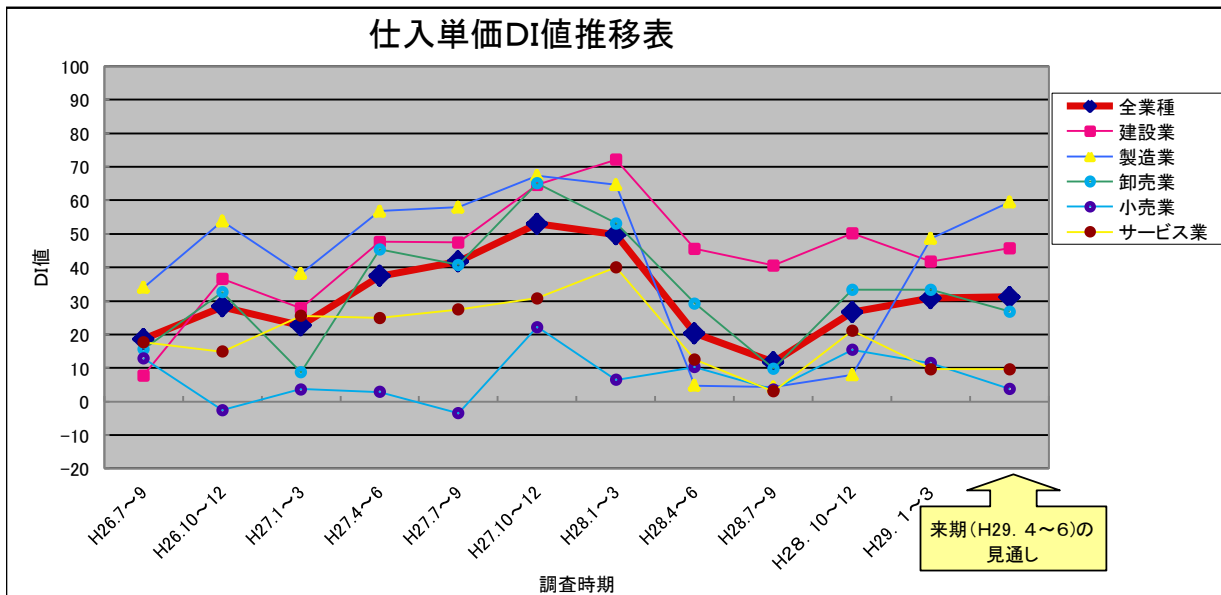
来期(H29.4~6)の見通しでは全業種DI値は▲26.5Pと5.4P悪化する見込み。



今期(H29.1~3)の久留米市地場企業景況調査で「業況面」での景気判断は、全業種合計で「好転した」と回答した企業は23社(前期比1社増)、「悪化した」と回答した企業は96社(前期比38社増)、「横ばいである」と答えた企業は57社(前期比40社減)であった。景気判断指数(DI値)を見ると▲19.3となり、前期比で1.7P好転した。

業種別に見ると、建設業▲21.1P(前期比1.8P好転)、製造業▲13.2P(前期比5.2P好転)、卸売業▲14.3P(前期比2.4P悪化)、小売業▲42.3P(前期比7.7P好転)、サービス業▲12.5P(前期比1.1P悪化)となった。

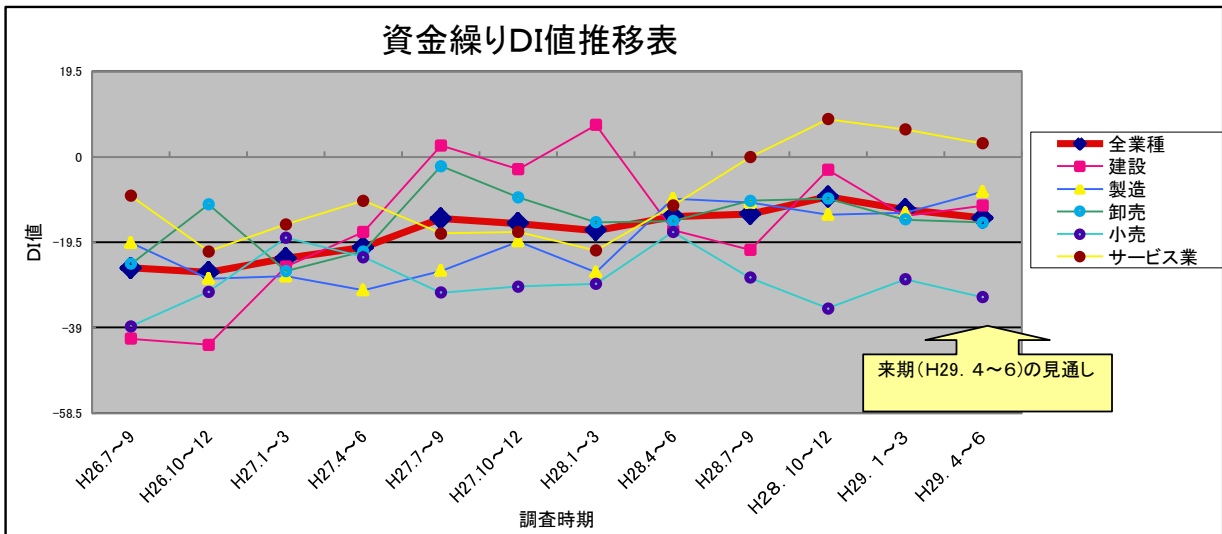
来期(H29.4~6)の見通しでは全業種DI値は▲16.9Pと前期比2.4P好転の見込み。



今期(H29.1~3)の久留米市地場企業景況調査で「仕入単価面」での景気判断は、全業種合計で「上昇した」と回答した企業は65社(前期比5社増)、「低下した」と回答した企業は95社(前期比81社増)、「横ばいである」と答えた企業は12社(前期比87社減)であった。景気判断指数(DI値)を見ると、30.8Pとなり、前期比で4.2P上昇した。

業種別に見ると、建設業41.7P(前期比8.5P下降)、製造業48.6P(前期比40.7P上昇)、卸売業33.3P(前期比不変)、小売業11.5P(前期比3.9P下降)、サービス業9.7P(前月比11.5P下降)となった。

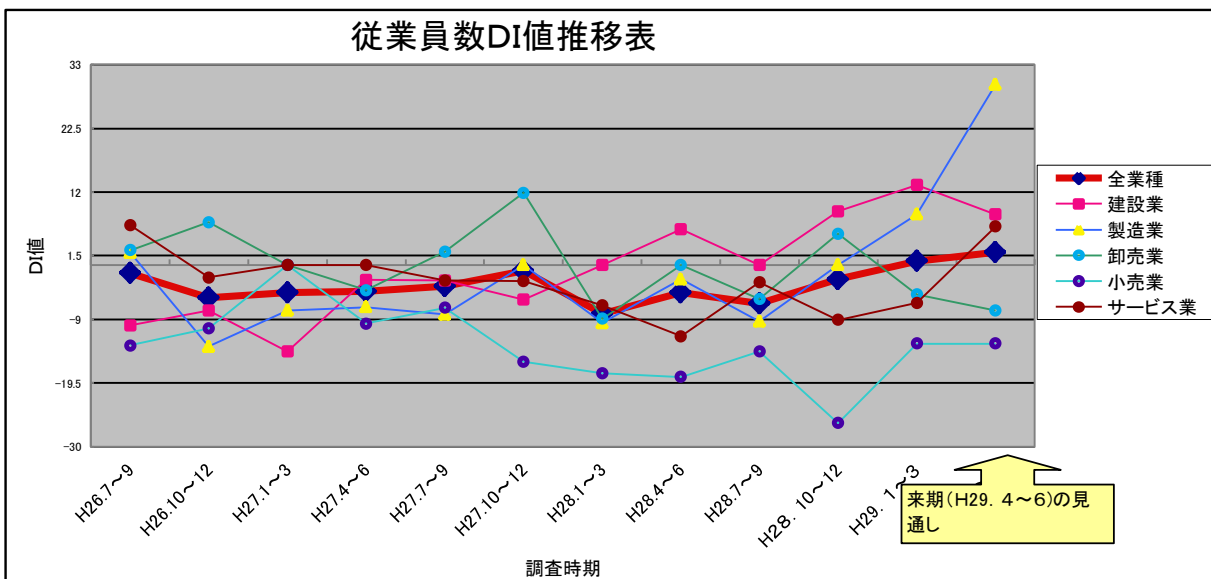
来期(H29.4~6)の見通しでは全業種DI値は31.2Pと0.4P上昇する見込み。



今期(H29.1~3)の久留米市地場企業景況調査で「資金繰り面」での景気判断は、全業種合計で「好転した」と回答した企業は15社(前期比1社減)、「悪化した」と回答した企業は31社(前期比9社減)、「横ばいである」と答えた企業は130社(前期比3社増)であった。景気判断指数(DI値)を見ると▲9.1となり、前期比で4.0P好転した。

業種別に見ると、建設業▲2.9(前期比18.3P好転)、製造業▲13.2(前期比2.8P悪化)、卸売業▲9.5(前期比3.3P好転)、小売業▲34.6(前期比17.4悪化)、サービス業8.6(前期比2.3P好転)となった。

来期(H29.4~6)の見通しでは全業種DI値は▲13.3と0.7P好転する見込み。

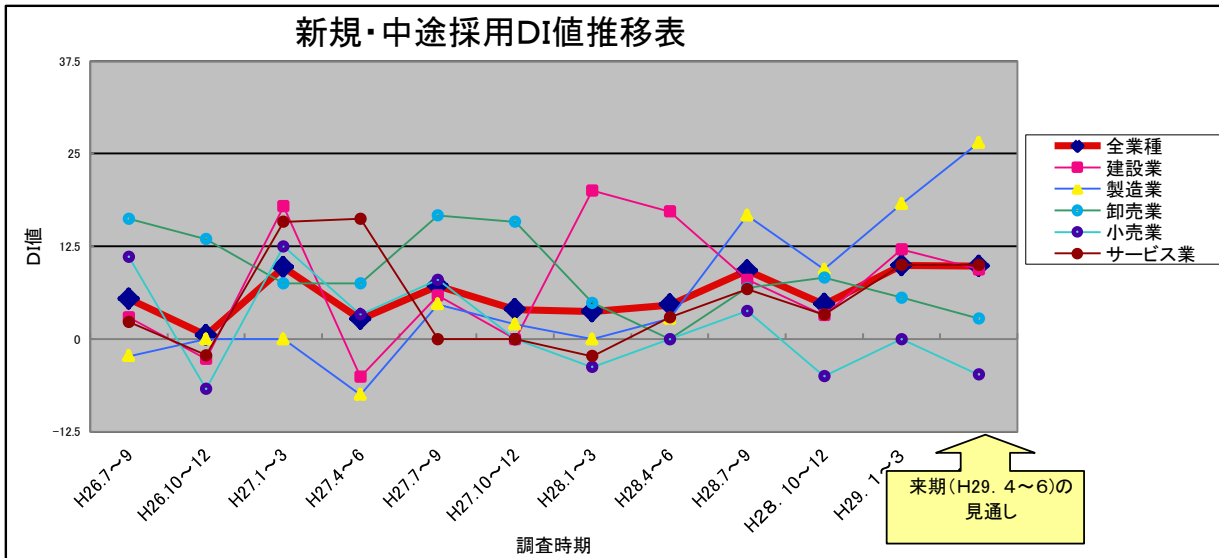


今期(H29.1~3)の久留米市地場企業景況調査で「従業員数面」での景気判断は、全業種合計で「増加した」と回答した企業は29社、「減少した」と回答した企業は28社、「横ばいである」と答えた企業は113社であった。景気判断指数(DI値)は▲0.6Pとなった。

業種別に見ると、建設業13.2P、製造業8.3P、卸売業▲4.9P、小売業▲23.0P、サービス業▲6.3Pとなった。

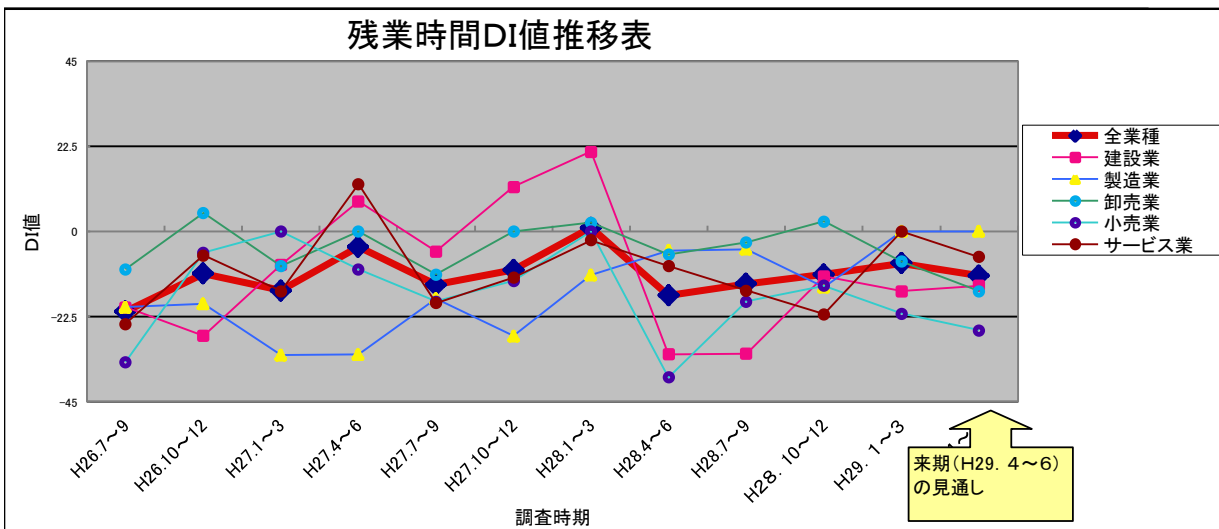
来期(H29.4~6)の見通しでは、全業種DI値は2.1Pとなる見込み。

### 新規・中途採用DI値推移表



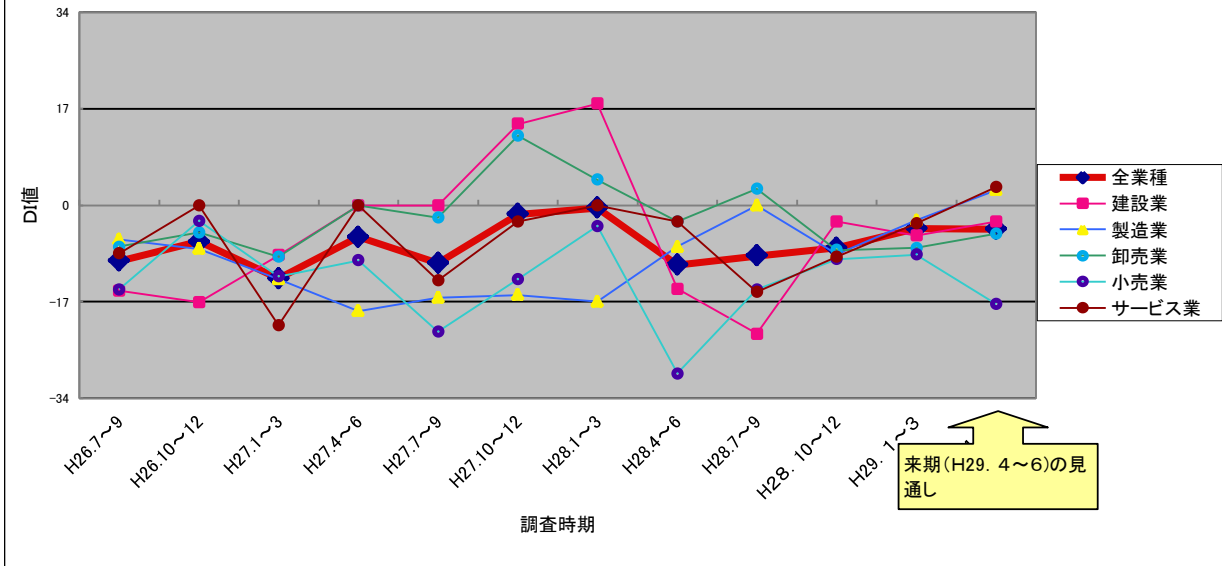
今期(H29.1~3)の久留米市地場企業景況調査で「新規・中途採用面」での景気判断は、全業種合計で「増加した」と回答した企業は32社、「減少した」と回答した企業は17社、「横ばいである」と答えた企業は103社であった。景気判断指数(DI値)は9.9となった。  
 業種別に見ると、建設業12.1P、製造業18.2P、卸売業5.6P、小売業0P、サービス業10.0Pとなった。  
 来期(H29.4~6)の見通しでは、全業種DI値は9.8となる見込み。

### 残業時間DI値推移表



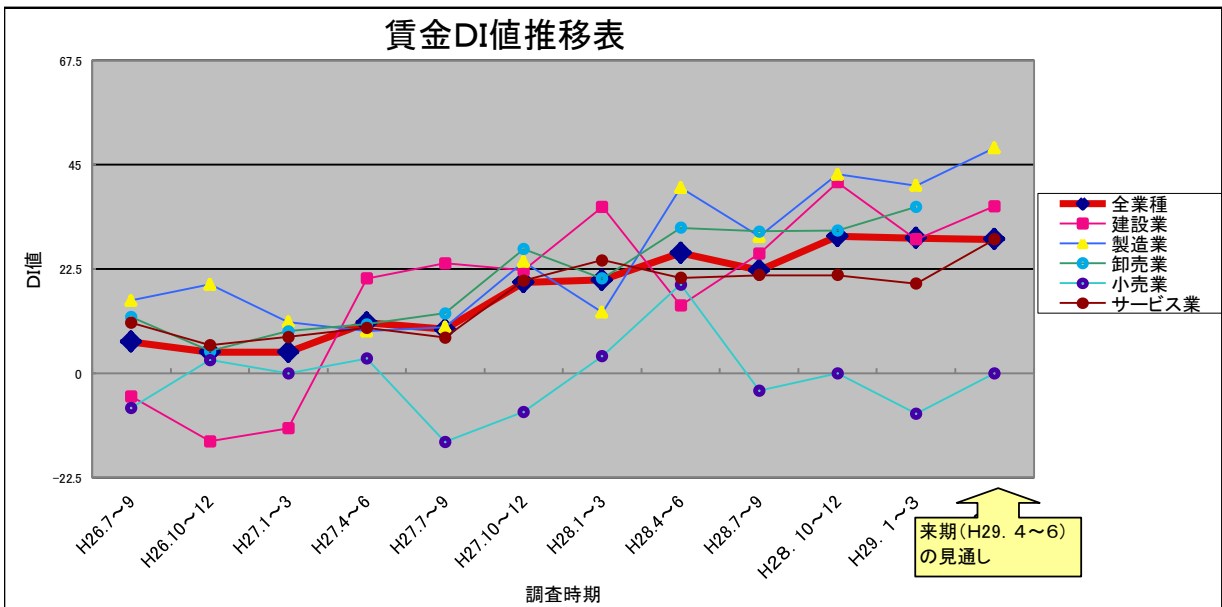
今期(H29.1~3)の久留米市地場企業景況調査で「残業時間面」での景気判断は、全業種合計で「増加した」と回答した企業は20社、「減少した」と回答した企業は34社、「横ばいである」と答えた企業は112社であった。景気判断指数(DI値)は▲8.4Pとなった。  
 業種別に見ると、建設業▲15.8P、製造業0P、卸売業7.9P、小売業▲21.7P、サービス業0Pとなった。  
 来期(H29.4~6)の見通しでは、全業種DI値は▲11.7Pとなる見込み。

労働時間・日数DI値推移表



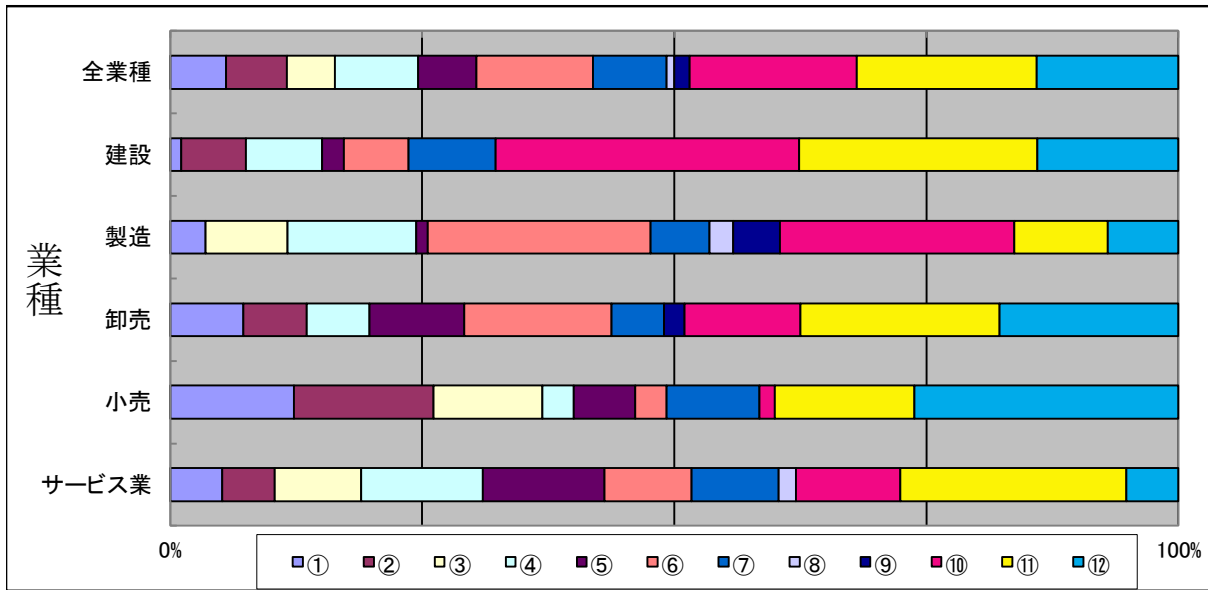
今期(H29.1~3)の久留米市地場企業景況調査で「労働時間・日数面」での景気判断は、全業種合計で「増加した」と回答した企業は11社、「減少した」と回答した企業は18社、「横ばいである」と答えた企業は140社であった。景気判断指数(DI値)は▲4.1Pとなった。  
 業種別に見ると、建設業▲5.3P、製造業▲2.7P、卸売業▲7.5P、小売業▲8.7P、サービス業▲4.1Pとなった。  
 来期(H29.4~6)の見通しでは、全業種DI値は▲4.2Pとなる見込み。

賃金DI値推移表



今期(H29.1~3)の久留米市地場企業景況調査で「賃金面」での景気判断は、全業種合計で「増加した」と回答した企業は54社、「減少した」と回答した企業は5社、「横ばいである」と答えた企業は109社であった。景気判断指数(DI値)は29.2Pとなった。  
 業種別のDI値では、建設業28.9P、製造業40.5P、卸売業35.9P、小売業▲8.7P、サービス業19.4Pとなった。  
 来期(H29.4~6)の見通しでは、全業種DI値は28.9Pとなる見込み。

## 経営上の問題点



①大企業の進出による競争の激化 ②同業者の進出 ③消費者ニーズへの対応 ④人件費の増加 ⑤人件費以外の経費の増加 ⑥仕入単価の上昇 ⑦販売価格の低下 ⑧金利負担の増加 ⑨事業資金の借入難 ⑩従業員の確保難 ⑪需要の停滞 ⑫その他

今期(H29. 1～3)経営上の問題点の上位は、「需要の停滞(17.8%)」「従業員の確保難(16.6%)」「仕入単価の上昇(11.6%)」。「需要の停滞」の業種別内訳は建設業(31.0%)、製造業(11.3%)、卸売業(26.8%)、小売業(12.7%)サービス業(18.3%)。

### <事業所から寄せられた主なコメント>

#### 【建設業】

募集しても良い人材が来ない。(設備工事業)、前年比で職人さんの工賃が増え、全員常用。いくら頑張っても利益は出ない。(タイル・レンガ・ブロック工事業)、仕事の減少により、売上がのびない。(大工・とび・鉄骨・鉄筋・左官・塗装・板金・金物等工事業)

#### 【製造業】

残業時間の短縮が問題になるが、従業員の確保が困難なので、とても厳しい。(鉄鋼・金属製品製造業)工場の近くに倉庫または土地が欲しいが、立地条件が厳しく困難。(鉄鋼・金属製品製造業)材料が品薄で確保が難しい上に、材料価格が高騰している。製品単価を挙げたいが、顧客は値上げに応じてくれない。(鉄鋼・金属製品製造業)

#### 【卸売業】

ネット販売の競争が激化している。(金属・機械・器具卸売業)、販売先の廃業が増え営業を圧迫している。(繊維・衣服・身の回り品卸売業)、シティプラザの駐車場が狭く高齢者には駐車料金が高くて人が集まらない。(その他卸売業)

#### 【小売業】

同業者の進出にて売上低下、卸売業の廃業により品物入荷困難になりつつある。(その他の小売業)、パート・アルバイト社員が少なくなり、運営にも支障をきたしている。(飲食料品小売業)

#### 【サービス業】

昨年、一昨年の業況が良かったため、税務対策と税金等の支払いで困っている。(不動産業)、同業者が増えた上、大手の進出もあり、先々が不安だ。(消毒業)、機器等の価格が上昇するので営業が難しい。(その他のサービス業)